

成果指標				
成果指標	タクシーチケット発行率			
指標設定の考え方	適切な周知を行い、より多くの対象者へのチケット交付と利用促進を図ることで、通院・通学などの面で支出増になっている障がい者の生活を支援できるため。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標28年度
目標	0.5	0.55	0.6	0.6
実績	0.522	0.543	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	対象者の半数にしか、利用されていない。理由を詳しく分析して、利用率の向上に努めたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	運転免許が無い障がい者(児)や、疾病や高齢による障がいがある原因で車の運転ができない方に対する市費によるタクシー利用助成であるので、通院や社会参加のための交通費の一部助成と考え、他の交通手段(デマンド・コミュニティバス・公共交通機関等)と併用して、利用を促したい。また、てんかん等のある障がい者の車の運転自粛についても、今後の課題と考える。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題